



### 廿四日から七日間

### 第二次の防空訓練

#### 前回迄行はれたものと異なり

#### 實戦死の實施訓練

東部防空本年度の第三次訓練は来る二十四日から三十日に至る七日間に亘つて實施される同訓練は  
東京府 千葉 埼玉 神奈川 山梨 茨城 栃木 群馬 長野 富山 福島 新潟 山形 秋田 岩手 青森の一府十五縣  
に及ぶもので前二回に行はれたものと異なり實戦さながらの訓練によつて國民防空業務

の全般につき徹底的訓練を實施することになつてゐるが右期間を三期に分ける計畫を上ぐれば次の如くである  
第一期二十四、五兩日は各防空業務の基本訓練  
第二期二十六、七兩日は實際に空襲警報による総合訓練  
第三期二十八、九、三十日は三日間は假裝敵探による實戰的综合訓練を實施する

### 草野三郎新縣議の

### 選挙費千二百六圓

法定額より六百圓余輕いが  
得点では一票四十錢弱

石城郡部に於ける縣議改選今次の選挙費は有権者の確定名簿三萬七千八百餘を定員六名で割つた六千三百に對する選挙一人一當り三十錢を乘じた千八百八十七圓七十九錢九厘

### 省から縣へ引續

石城郡南の鮎川橋は同橋の落成後に残つてゐた植田町と鮎川側の兩取付け道路の舗裝もこゝ一兩日で完成するので今三十日縣土木課から奥山橋梁技師出張内務省出張所の高橋技手から縣に引續きをなす

### 鮎川橋今日内務

### 植田名産の

鮎川の鮎漬  
石城郡鮎川漁業組合では九月下旬八日間に同河川から鮎四百貫余を漁獲し東京に出荷し

日刊 日刊 日刊  
新刊 新刊 新刊  
新刊 新刊 新刊  
新刊 新刊 新刊

### 支那語

危險に遭遇と云ふ様な場合を遭遇と稱してはインセン、衝突のこと五五と唱へてヘーチアン、事故のことは變故でビエンター、検査を驗票と書いてミエンピオと呼んでゐる

### 戦地の便り

#### 今後共に何分の

#### 御鞭達御指導を

市民各位の御熱誠なる御守護の賜もによつて私共が無事御奉公の誠をつくして居られますことは幾重にも御禮を申し上げますと、ごさいます、願ひますれば上陸以來○月○回はから

### 新聞を面白く讀む

#### 吉田 伴三

平市並の前出身 謙啓、その後は永い間御無沙汰を致しまして誠に恐縮に地えませんが、酷暑の候は過ぎましたもの、残暑はまだ、殊に大陸はひどいで

### 雲丹の罐詰

石城の漁産から  
縣水試場では雲丹の土産物に雲丹の罐詰をつくらうと脱氣殺菌の研究されてゐるが成功したのでこれを漁村の副業として奨励し本場九州物のお株を奪ふ東部市場の進出を企てるが同時に石城各漁村に對して雲丹の増殖をはかるべく計畫中である

### 故井上組頭の

頌徳碑除幕式  
来る十五日舉行  
平消防組頭故井上茂作氏の頌

徳除幕式は九月の命日に於て舉行の筈を延期されてゐるが来る十五日に行はれることになった、碑は既報の如く舊城跡跡物見ヶ岡の眺望に建てられたもので同地は市内の火災を消防に盡した功勞者の頌徳に應はしい好位置である

### 四倉蘭市場

#### 百二十八圓

前日に比し平均で  
三四五錢の高値

四倉蘭市場第四日目(昨二十九日)は出廻り千二百四十二貫五百八十八匁(一二二件)の總額一萬五千五百七十五圓四錢に達したが取引相場左記の如く平均値の百二十七圓四十二錢は前日の買割れに比して十貫當り三圓五十錢高を示し尚ほ買ひ氣配旺盛なもので更に高値を歩むものと云はれてゐる

温習會を開催し軍人遺家族並びに傷痍軍人を招待の筈であるが催しの諸費は藝妓組合に於て全部負擔し入場券の賣上は悉く市の統後奉公會へ寄附することになつてゐる

### 勿來の山地から

#### 土器が出る

炭鑛長屋の敷地  
石城郡勿來町の大日本炭鑛に於て中央坑の坑夫長屋を建築する敷地を掘削したところ同地から金魚鉢型の土器數個が出たので損傷せぬ二個を同町小學校に寄贈したが炭鑛直經一寸五分、高さ四寸位あり毀はれたもの、大きいのは直經五寸、高さ一寸五分ぐらゐりがある何に用ゐたものかまだ判らぬが奈良朝以前のものでないかと云はれてゐる

### 選挙違反で

#### 錦村長收容

事件擴大の模様  
石城郡植田町管下民政派非公認候補植田派の選挙違反事件に對し其の筋では數日來活動を續けてゐたが右の嫌疑で去る二十七日召喚された錦村長正木次郎兵衛(三三)氏の取調べによつて同村職名を植田町の料亭に招き買収票をなした事實が濃厚となり正木氏は

### 公休日お知らせ

自今當分の間毎月一日を公休日と相定め候間右御諒承願上候  
但し急用の場合は御来店願ひます  
福島縣水工業組合  
平市 仲買人  
丸製氷會社  
平製氷會社  
魚清氷卸部  
丸市屋魚店氷部

### 試験地獄根絶の断案(上)

教育審議會特別委員の承認  
學科試験廢止を断行して一般父兄にもこれを徹底させることとなつたが文部省の大綱は次に掲ぐる如くであつて其のうちの注目される點は小學校長の報告は學級全体のものと個人のものとの二通を提出せしむること、小學校間の學力の差を認めぬこと、人物判定の觀察を自體検査の際にも行ふこと、優秀判定し難い場合は抽籤を行ふことなどであり、また同案で特別の場合に限り例外を認めてゐるが、文部省としては現在競争激甚なる地方に對してはこの例外を認めず準備教育の弊害を根絶する方針であること云ふに、  
選抜方法、入學者の選抜は小學校長の報告、中等學校に於ける人物考査及び自體検査の三者綜合によること

### 晴の入賞者

一等平市谷本春光氏  
本縣觀光協會に於ける四季觀光賞寫眞夏の部募集は多數の応募者を見て嚴審中であつたが二十九日十六名が入賞を決定、晴れの一等は平市材木町谷本春光氏の「波立薬師海岸の朝」に獲得された其の他の入賞左記の如し  
一等(一名)賞金五十圓の外國觀光協會の副賞、平市材木町谷本春光(二等)  
二名(賞金三十圓)夏野櫻の景(平市大町諸橋武)漁場夕(平市瀧野川區田端吉野榮一)三等(三名)二十圓「雲雀ヶ原の職」東京市杉並區阿佐ヶ谷定堀圭助、「勿來海岸」平市堂の前梅崎安正「鹽谷御燈台」東京市澁谷區千駄ヶ谷東久世通信「佳作」十名各五圓(平市の分)谷本

### カメラマン

二十八日夕平刑務所に收容引續いて關係者を嚴重取調中であるが同違反事件は相當擴大する模様と見られてゐる

### 春光、猪狩發明 草野央

法要費節約献金  
小名濱町の上横町久田かよさん(三七)は夫君の出征留守中に長男義明君を失つたが三周忌の法要費を節約して金十四圓を國防献金した  
新興ダイヤペン付  
ウエル萬年筆  
一、五〇以上  
商工省主催「代用品工業振興展覽會」出品申込の各種代用品一萬數千點中萬年筆としてはウエルペン一點嚴重なる鑑査に合格したる新興國策製品  
代理店 魁文堂  
電話三二三

# 豚コレラの

## 豚コレラの

病原は消毒薬で  
すぐ死んで終ふ

(五) 豚や野鼠の駆除につとめ一般の清潔法を勵行すること(六) 疑はしい病豚や斃死豚がある場合は最寄りの警察署または駐在所に届出で且つ獣醫の診断をうけること(七) 近隣に本病が発生したるときは免疫血清を注射することが安全である、この注射は直ちに免疫の効力があり約三週間は効力があるが次第に消失するから三、四週間毎に反復注射しなければならぬ、なほ免疫血清は發病の初期に豫防用量の約倍量を注射すれば病氣を治癒する効がある、なほまた豫防液は注射後二週間で効力を生じ約六ヶ月間の持続期間がある、これ等のことに關しては獸醫師と相談されたい、

前述に出所不明の豚の取引をなすことを注意したが仔豚の配給所を新設した東京府下南多摩郡畜産養豚組合では八千頭の成績を有し肉と皮革の需要を益々増加してゐるが今春漸く組合を結成したばかりで要求を満たすことが出来ないう状態なので今度府の種畜場の指導を受けて同郡内の四ヶ所に仔豚の配給所を新設して賣るにも買ふにも此の配給所を利用して他地方からの購入を見合せ組合員全体の協力によつて増殖の擴充をはかることになり同時にまた病疫豫防施設の完備を期して一南多摩郡の豚に病疫なしの目的達成

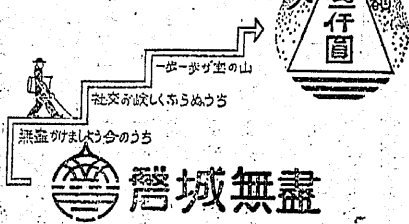
に邁進することになつたが地方にも斯うしたものが出来れば關係當業に大なる幸福である(完り)

### 肉の御用命は

# 三三三屋

## 牛も豚も優良品の自慢

「貯蓄は無盡で」



大小の御宴會にホール  
御家族の御同伴其他の  
御集ひに御座敷

味覺實質  
衛生萬點の  
マルトモ食堂  
平市四丁目(電話二三三番)

國民精神總動員

日本國民必見の書……

内閣情報部發行

## 寫真週報

1部10セン

お取次致して居ります

西村屋藥局 電三

醫學博士

江尻伊三郎  
平市田町 電話六九二番

専門  
皮膚科  
泌尿器科  
性病科

診療時間  
午前八時より  
午後九時まで

### 院醫尻江

内科、小兒科

# 大森醫院

醫學士 大森勇

應入  
需院

平市南町 電二五八番

# 胃腸錠

研究十八年

元京都帝大教授 醫學博士 豊島豊次郎先生 創製

# ミクローゼ

【新發賣】

世界に誇る日本最初の  
有効菌を綜合せる  
……ピルツ劑……

- ★ 能食 服めばすぐ食欲が出る。
- ★ 能便 食べたものは無味なく、糞糞化され、便通は整ひ、快く排泄される。
- ★ 能眠 ぐつすり眠れて、疲勞は恢復する。
- ★ 能働 能く精力が増し、十二分働ける。

ホシチエーンストアーにあり

平市三丁目三十番地  
電話 四二九番

星製藥株式會社 星福島縣支部

★ ★ ★ ★ ★

豊島豊次郎先生  
胃腸錠  
ミクローゼ

今般、醫學士土井利明氏を副院長として招聘し  
内科、小兒科の診療に従事せしむ

**平病院** (平市元共済病院跡)  
電話 六四一番

院長 醫學博士 鈴木定藏

副院長 長 鈴木定藏  
副院長 長 土井利明  
副院長 長 高橋俊幸  
副院長 長 鈴木定藏  
副院長 長 吉本孝平

診療時間 毎日午前八時より午後九時まで  
夜間診療に從事す(急患は此の限りにあらず)